

みんなの 町議会

第15号

2008年7月

 神石高原町

さきこうげん Jinsekikogen Junior high school student English Recitation & Speech Contest
学生英語暗唱・スピーチコンテスト



英語スピーチコンテスト

| | |
|---------------------------------|-----|
| 町立病院の設立支援など(補正予算) | 2P |
| がんばるふるさと応援条例の制定(条例改正)..... | 3P |
| ケーブルテレビ事業の導入は(一般質問) | 4P |
| 勉強に行って来ました(委員会報告) | 10P |
| 少年野球チーム「神石ジュニアオックス」(グループ紹介) ... | 12P |



補正予算

全会計

3億8,086万円の増額

この度の（6月度）補正予算は、一般会計で2億428万円、特別会計で1億7,658万円の増額となりました。主なものは、一般会計では、ふるさとふれあい事業（ファンド）に2,180万円、神石高原和牛の里整備に2,500万円、県病院移管に伴う補助2億2,001万円を保健・医療・福祉支援事業基金として積立など、それぞれ追加補正されました。緊急地方道整備6,000万円が減額補正されています。特別会計では、介護

保険・保険事業勘定で介護給付費準備基金に1,327万円の積立。簡易水道事業会計で、落雷による施設維持経費に250万円が増額補正されています。なお、全体で人件費について、職員給与の5%カット分4,272万円、3月末職員退職分減額6,634万円など合計で8,422万円が減額補正されています。一般会計繰越額3億3,350万円の内、半額を越す額を、財政調整基金に積立てる予定です。

保健・医療・福祉支援事業基金に 2億2,001万円

平成20年度6月定例会は、6月9日から25日まで開かれました。平成20年度各会計補正予算（6月補正）、神石高原町病院事業の設置等に関する条例の制定など18議案、第3セクター経営状況5件、条例改正について専決処分報告2件など25案件をそれぞれ原案のとおり可決承認しました。一般質問では11名の議員が当面する行政課題をただしました。

6月補正予算

単位：万円（四捨五入）

| 会計名 | 当初予算額 | 補正額 | 補正後の額 | |
|------|---------------|------------|-------------|------------|
| 一般会計 | 97億1,000万円 | 2億428万円 | 99億1,428万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 12億8,390万円 | 1,085万円 | 12億9,475万円 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 3億0,000万円 | 0円 | 3億0,000万円 |
| | 老人保健特別会計 | 2億5,100万円 | 1億787万円 | 3億5,887万円 |
| | 介護保険特別会計 | 16億3,450万円 | 4,808万円 | 16億8,258万円 |
| | 簡易水道事業特別会計 | 4億5,390万円 | 959万円 | 4億6,349万円 |
| | 飲料水供給施設事業特別会計 | 4,400万円 | 0円 | 4,400万円 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 2億3,620万円 | 19万円 | 2億3,639万円 |
| | 分収育林事業特別会計 | 10万円 | 0円 | 10万円 |
| 合計 | 139億1,360万円 | 3億8,086万円 | 142億9,446万円 | |

条例改正

こんなことが**決**まりました

県立神石三和病院 『神石高原町立病院』として新たにスタート

神石高原町立病院の設置条例

賛成多数

県より地元移管され、指定管理者による運営が来年4月1日より開始。

- 7月1日より、指定管理者の公募を行います。選定は選定委員会を構成して決定します。
- 診療科目①内科②外科③整形外科④眼科⑤リハビリテーション科
- 病床数 95床（一般47床、療養48床）

神石高原町立病院の利用料金・手数料条例

賛成多数

- 県立神石三和病院と同額を徴収する。

新たに
挑戦

がんばる神石高原町ふるさと応援条例が制定

賛成多数

神石高原町のまちづくりを応援する方々より広く寄付を募り、寄付者の思いの実現と住民参加のまちづくりに取り組む。

- 寄付の使い道を次の5項目から選び指定できる。
 - ①「教養の町」の推進
 - ②教育環境の整備、小・中・高校連携教育
 - ③子育て支援と若者定住支援
 - ④高齢者・障害者の福祉と健康
 - ⑤水源の里まちづくり事業

※寄付をした人には、お礼として町の特産品を贈る。

（ふるさと納税制度により、寄付金から5,000円を引いた額の住民税の1割相当額までが税額控除される。）

第3セクター経営状況

平成19年度第3セクター販売高

単位：万円（四捨五入）

| 会社名 | 売上 | 当期損益 |
|-----------------|-----------|-------|
| (株)神石高原農業公社 | 6,444万円 | ▲86万円 |
| (株)帝釈峡スコラ | 1億1,125万円 | 202万円 |
| (有)直売公社 まるごと市場 | 2億5,517万円 | 39万円 |
| (有)油木特産販売 百彩館 | 9,983万円 | 4万円 |
| (有)さんわ182ステーション | 3億332万円 | 208万円 |



一般質問



総合健診

問 ケーブルテレビ事業の導入は

答 町の将来に有効だが財政が問題だ

Q C A T V（ケーブルテレビ）事業は町の将来の発展に繋がる事業と思うがどうか。

A 町長 今後の町を担う子どもや孫の代まで有効に活用できる財産だと思うが、財政への影響が大きい。決断には、タイムリ

ミットがあるようだがもう少し時間が欲しい。

Q 県立神石三和病院が町へ移管される。今後、町の医療体制をどうするのか。高蓋の直営診療所はどうなるのか。

A 町長 町内の医療機関・介



木野山孝志議員

Q 学校統合について情報が錯綜している。住民の意見の集約は。方針の変更はないのか。

A 教育長 策定した方針は住民の理解を前提としている。児童生徒の減少傾向が著しく緊急性を要するが変更をとという住民意見も多い。一方的な推進は出来ないが、早い時期に一定の方向性を出せるよう努める。

問 医療水準は低下しないか



松本彰夫議員

答 現在の医療水準は守る

Q 神石三和病院の移管を受けた場合、医療水準・医療サービスは低下しないのか。

A 町長 公設民営で運営し、病床数、診療科目も現在の機能を更に充実させ、適切な医療サービスを提供する。

医療水準は守られ、サービスは低下しないと考える。

Q 来年の4月移管に向け、準備は万全か。

A 町長 今後、指定管理者を決め、県や指定管理者と協議し、業務の引き継ぎ

を行う。入院患者や家族にも説明を行い円滑な移管に努める。

Q 県の支援はいつまで期待できるのか。

A 町長 協定書にも、疑義が生じた場合はその都度

Q ふれあい補助金の支払い、子育てありがとう補助金の手続きなど、事務の簡素化は出来ないか。

A 町長 ふれあい補助金は前払い40%であるとは清算払いだが、中間・概算払いを最大限活用する。子育て補助金は自治振興会長の承認手続きを省略した。

協議するとしている。知事も将来にわたってフォローアップすると言われている。

Q 指定管理者の選考に当たって重視すべき点は。

A 町長 ①健全で安定的な病院経営が期待できること。②安全で良質な医療サービスを提供できること。

③医師、看護師などの医療従事者を確保できること。④救急医療などの政策的医療の充実が図られることである。

Q 町内の医療機関との連携は。

A 町長 町内の医療機関・特養・老健・社会福祉団体並びに町との連携強化を図りたい。



高蓋診療所



都市とのふれあい（有木地域）

問 グループ・ケアホーム設置事業の経過は

答 東城有栖会が運営

Q 県と本町は障害者（児）のケアホームを設置する法人に補助するが、建設場所は決まったのか。

A 町長 東城有栖会が用地を確保する。

Q 県補助は一人当たり381万6千円であり

る。現在の人数と今後の予定は。

A 町長 4〜6名で、23年度には10名が宿泊できる施設になる。

Q 町は3つの過剰を抱えているのに、油木シルトピアセンター管理

棟の賃貸、もしくは売却を考えなかったのか。

A 町長 改造が困難。狭いので利用できない。

Q 中国自然遊歩道は、県と施設管理を委託契約しているが、査定額・見積もりは。



村上克朗 議員

A 町長 今年度は、神石地区・休憩所1カ所、3路線延長2,217mと油木地区・休憩所2カ所、1路線延長529m。

Q 管理がしてない場所があるがなぜか。

A 企画課長 管理経費が少なく、今年度の指定力所のみ管理する。

Q 長く管理してなく、歩くことができない

場所がある。

A 企画課長 調査し、善処する。

Q ふるさと納税制度はどのように考えているのか。

A 町長 寄付金を募り、町の明るい未来を築くための事業に活用する。寄付者へのお礼は金額によって郷土産品を送る。

Q 本年度実施される、「ふるさとふれあい

事業」の申請はあるのか。

A 総務課長 事業申請は14件で集会所の改築などがある。公開の審査会をする。

Q この制度には寄付者へのお礼を考えていないが、違いは。

A 総務課長 この事業には考えていない。

問 農業公社経営改善の戦略は

答 農業法人化を模索

Q 農業公社に対しては、例年多額の公的資金を投入しているが好転の兆しが見えない。この要因は何か。

A 町長 先の役員会で社長が町長から民間人に代わったことを先ずお知らせしたい。

要因は、負の遺産と言える貸金体系を見直さなければならぬ。新社長自ら改革しなさいと言うことになっている。

Q 事業収支の中でトマト工房が唯一損失を計上している。この状況をどう判断するのか。

A 町長 戦略は二分割・民営法人化ではないか。

A 町長 役員会で撤退の意見がでており、新社長の経営手腕に委ねるところである。

Q 戦略は二分割・民営法人化ではないか。

A 町長 公社統合の時、農業



瀬尾征爾 議員

法人化して攻めの農業公社の経営にしたいと思っていた。

Q 53公共施設を来年4月1日に指定管理するとしているが、旧公民館分館は地域の拠点施設である。拠点施設の管理

者が一年間も不在でいいのか。

A 町長 基準の明確化を図る必要があるが、町内同一でないと地域格差が生じるので、来年4月1日に揃えるのが好ましいと考えている。



福祉文教委員会

問 選挙経費の縮減を

答 今回は現行で

Q 町長・町議選挙費用を合わせて1,700万円予算化し、11月25日告示・30日投票が決まっている。期日前投票の日数及び時間の短縮・支所職員での対応。併せて、投票時間の短縮で経費の縮減が可能と思うが。

A 総務課長 期日前投票は告示の翌日から投票日の前日までの間、毎日8時30分から夜8時まで投票することができるとしている。

しかし、少しでも投票率をあげるためと、投票の機会を増やすという国の施策とは云え、本町の



小林 貢 議員

ような過疎高齢化の進んだ地域においては、日数期間・8時までの投票時間と云い、いずれも長すぎると云う認識は少なからず感じている。合併以来夜7時までに1時間繰り上げていますが、本当に必要か検討の余地はある。法の趣旨を尊重して見

直しが可能かどうか、選挙管理委員会で検討している。

投票立会人は、既に2名の支所職員を充てているが、これ以上現在の支所職員を充てることは、現在の支所体制では困難であろうと考えている。今回の選挙は、現行を踏襲する中で「深夜時間外勤務手当の必要な開票時間の短縮」を最重要課題として取り組みたい。

問 県立神石三和病院の地元移管は

答 来年4月1日から町立病院



片山元八郎 議員

Q 財政支援15億円の要求に、6カ年分割で13億2,400万円の回答。県財政の現状から知事の決断を評価する。支援金の用途は「経営が軌道に乗るまでの運営資金」と限定して拘束されるのか。

A 町長 支援金については拘束されない。当面、特別会計へ基金として積み立てたい。年間3億円の赤字内訳は、企業債支払い利息・建物などの減価償却費等合計2億円。この2億円については、県が引き継ぐ。実質1億円の赤字は、交付税措置、人件費の縮減などで解消で

きると思う。

Q 医師・看護師・検査技師などの確保はできるか。

A 町長 指定管理者が確保に努力する。県も医師派遣などの支援は考えてくれる。

Q 「民間経営」となっても、半永久的に、良質な医療を提供し、町民に愛される病院となるのか。

A 町長 健全で安定した、町民に信頼される病院を目指し、最大限の努力をする指定管理者を選定したい。

Q 公設民営のスケジュールは。

A 病院対策室長 7月1日から指定管理者を公募。応募の中から選定し、9月議会で決定。来年4月1日から「神石高原町立病院」となる予定。

Q 指定管理者応募の手応えはあるのか。

A 病院対策室長 応募はあると確信している。



開票風景



新装なった牧グラウンドゴルフ場

問 安全・安心のまちづくりは

答 防災組織の育成に努める

Q 災害に対する神石高原町の備えは万全か。緊急避難場所での備蓄状況、公共建物の耐震対応状況、自主防災組織の活動状況は。

A 町長 町内避難施設は69カ所あるが備蓄は一切無い。今後備蓄場所を確保し



小川清治議員

必要最低限の備蓄に努める。平成20年3月策定の耐震改修計画に基づき耐震化率90%に努めたい。防災組織の組織率は94%で活動支援と育成に努める。

Q 法改正で診断実施結果公表が義務付けら

れ県内崩壊危険建物は430棟と公表された。安全安心を守るため、公表義務があるのでは。

A 町長 現在、豊松小学校の耐震診断中。順次診断中であり、混乱を招くため公表は控えたい。

Q 移管後の町立病院の特色は。

A 町長 良質で安全安心な医療が提供できるよう午後診療の実施、相談室設置、町の保健医療福祉の拠点づくりを目指す。

Q ケーブルテレビ事業の取り組みは。

A 町長 先進自治体の取組みや国の補助事業について検討を重ねている。この事業は将来財産として残

る社会資本整備事業だが、反面財政上後世に与える影響も大きい。議会

特別委員会の動向や多くの視点で考慮していく。



消防 安田出張所

問 県立病院の地元移管の決意は

答 信頼される病院をめざす

Q 地元移管にあたり町長の決意は。どのような病院をめざすのか。

A 町長 県へ公設民営で財政支援、人的支援を求めてきた。良質の医療を安定的に提供し、住民に愛され信頼される病院を目指す。

Q 選定委員会メンバーは。

A 町長 メンバーは今公表する段階でない。

Q 管理者指定が不調に終わった場合、県はどこまで面倒をみてくれるのか。

A 町長 数件問合せがあり応募は必ずある。そういうことのないよう努力すること。

Q 医療機器の更新はどこまで町が見るのか。

A 町長 医療機器備品の管理は指定管理者が行い、更



久保田龍泉議員

新の場合、負担割合は、今後町と管理者が協議する。

Q 建物の維持管理費、経営をする上での赤字補填はどこまでするか。

A 町長 オープンまでの改修費は2億2千万円の内で行う。赤字補填は公募した方と具体的に協議する。

Q 通院バスの維持は。

A 副町長 本年度地域公共交通協議会の中で病院バスは確保するよう検討したい。

Q 道路特定財源の暫定税率の失効により歳入不足額とその後対応は。一般財源化の所見は。

A 町長 約3千万円の不足が出る。5月再議決を求めて中央に要望し暫定税率は復活した。総額が担保されるなら一般財源化が自由に使えるので良いと思う。



高蓋小学校

問 森林セラピーへの取り組みは

答 認定に向け積極的に取り組む

Q 深刻化する地球温暖化対策に対する考えは。

A 町長 北海道洞爺湖サミットのメインテーマは、地球環境問題・地球温暖化対策である。自然生態系や人間社会への悪影響を考えると、

地球温暖化対策は極めて重要と認識している。

Q 7月7日をクールアースデー（地球温暖化対策の日）として、ライトダウンの取り組みを。

A 環境衛生課長 七夕のライトダウン

キャンペーンは全国的に取り組まれる。町内でも今後協議し対応する。

Q 本町の豊かな資源は森林である。「森林セラピー基地」「森林セラピーロード」認定へ積極的に。



寄定秀幸議員

A 町長 自分の体験から、森林に入ると精神が落ち着き、発想が豊かになり不思議とひらめきが出る。これが「森林セラピー」の効用だと思っている。関係機関と連携し、健康に着目した幅広い森林の利用に努めるため、「基地」「ロード」認定へ向け、積極的に取り組む。

A 教育長 保護者、校医と連携し対応している。教職員の、アレルギー疾患への認識を深めると共に、常に情報収集に努め正しく理解し、ひとりひとりの児童生徒に適切な対応が出来るよう指導する。



森林セラピー
森林の持つ癒し効果を生かし、健康増進やリハビリに役立てるもの。森林浴療法



楽しいグラウンドゴルフ（仙養・上野地域）

問 食育推進の具体策は

答 地産地消など推進

Q 町内学校での食育を担当しているのは、主に養護教諭や栄養専門員となっているが、栄養教諭の導入は。

A 町長 農業や伝統食文化体験などは、学校間で差があるが、一定の基準を設けて体験させるべきでは。住民向けの食育は講演

会などを通じて、伝統食の意義や現代農法の人体や環境への影響など正しく啓発すべきでは。都市住民との交流を広く全町へ拡大させては。

A 町長 安全な食べ物の生産促進。地産地消の推進。郷土料理や日本型食生活

にこだわった食育を進める。有木自治振興会のよう

A 教育長 栄養教諭は現在広島県で10人配置。本年度は



赤木健二議員

効果検証のため採用を見送っている。栄養士や養護教諭に研修させて当面は対応していく。小学校では全校に農園がある。昨年、中学校では農業を含むキャリア教育の充実を図った。町外の学校との交流で郷土料理の実習など実施。今後は家庭や地域の支援体制が必要。

Q 三和病院が町立となれば、近い将来産科を開設して町外からの来院を図り、それをステップに若者の定住を図っては。

A 町長 逆手に取る発想で、将来のあり方として参考にしたがいし、指定管理者とも協議したい。

問 限界集落対策は

答 県の施策を精査し取組む

Q 過疎高齢化が進行し、高齢者人口が50%を超える限界集落が、全集落の3割を超え、社会的共同生活が困難になったり、農地の荒廃など生活環境の悪化が進行している。県と町の取り組みは。

A 町長 限界集落対策は、町の存亡にも関わる問題と

認識している。

県は昨年より調査し、本年緊急対策費を計上した。町も今年度該当集落を調査する県の対策を精査し取り組みたい。

Q 本町の重複した交通対策を総合的に見直すため設立した、地域公共交通協議会の基本方針は。

A 町長 住民ニーズの把握をして、現在の財源の範囲内で効率的な運行を行い、町民が誰でも利用できる満足度の高い地域交通対策を目指したい。

Q 町道の障害木の伐採は、基本的には地権者の責任だが、地権者が



佐伯卓師議員

対応できない場合は、地域に任せ支援をするべきでは。

A 町長 町ですべての対応は難しく、地域で出来る路線は地域に任せ、後方支援を検討する。

Q 間伐の遅れた植林地が目立つ。森林対策は間伐を重点に進めるべきだ。

A 町長 ひろしまの森づくり事業など大いに活用してほしい。



そば打ち交流（ながの村）

Q 滞納繰越は回収可能か

小林 貢 議員

A 住民課長

滞納処理に努力をしているが、今後もいろんな方法で回収するように努力して参りたい。

Q 議案の提案に慎重さを

瀬尾征爾 議員

A 町長

もう少し精査して行うべきだと思う。議会軽視の意識はありません。

Q 小規模農業基盤整備事業（かんがい排水）は、農業法人へも補助を

村上克朗 議員

A 産業課長

集落法人や企業の個別経営農家、農業外企業が権限を有する農地に限り補助対象。

Q 「神石高原和牛の里」にある資料館の管理は

A 産業課長

豊満号などの記念品は町で管理する。



女性のつどい（スコラドーム）

少し細かな質問

委 員 会 報 告

総務企画常任委員会

CATVの視察（島根県邑南町）

調査日時

平成20年4月15日（火）

調査目的

本町は中山間地であり、テレビの難視聴地域が多数存在する。さらに高速インターネットを利用できない地域がある。

今後さらに情報の格差が拡大していくことが懸念される。この格差の解消と産業の発展のため、ケーブルテレビ事業に取り組んでいる邑南町を視察した。

調査内容と結果

邑南町では地上波のテレビ放送がアナログからデジタルに移行される時、約4割の世帯がテレビ難視聴世帯となる。現在44組合のテレビ共同受信組合がある。高齢化により施設のデジタル対応

や運営維持が困難な組合もあり、こうしたことを解消するために、農林水産省の「元気な地域づくり交付金」を受けて、平成19、21年度の3カ年計画で事業費25億7,300万円の情報基盤整備を実施している。

利用料金は加入負担金3万円（早期加入者は1万円）軒先までの引込工事費は約10万円前後（早期加入者は無料）宅内工事費は約3万円、基本テレビ放送は月額1,500円、インターネットは月額3,500円、IP電話は加入者間無料。高速インターネット20MBの接続。防災、行政、農業、地域情報など放送する。



ケーブルテレビの研修（邑南町）

町内指定管理施設調査の報告

調査の日時

平成20年5月23日（金）

調査の結果

光信交流体験農園

貸付農園、ぶどうのみ取り、イベントの利用者が少ない。

ふれあいセンター永野村

自治振興会の運営委員会で管理。事業やイベントを計画し年間に7,950人が利用している。

風呂が1つしか無く、トイレも数が少ない。

増設を希望されている。

スコーラ高原

19年度は利用者、食品開発・販売の増加でわず

かだが増収となった。経

営努力の結果と思う。施設の補修、維持管理、ハーフ館のクラブ体験などが課題である。

ビレッジハウス仁吾川

186人である。宿泊費は寝具のリース料により変動する。買い置きの寝具もあり、安く利用者に提供できる。

紙ヒコキ・タワー

民間企業への指定管理により利用者が5,291人と増加した。

世界大会が開催される予定である。開催にあたっては、道路拡張、駐車場整備などの課題がある。

地球温暖化対策として

議会もクールビズ対応を

実施しています。

農事組合法人「三森原」を視察

（島根県奥出雲町）

調査日時

平成20年4月16日(水)

調査の結果

農事組合法人「三森原」は、奥出雲町横田にあり、資本金846万円、組合員は、17名で組織されています。

法人の方針は、法人経営を安定させ、集落の暮らしの仕組みを維持することです。

主な作物は、水稲で、エコファーマー化して「源流米」のブランドとして出荷しています。JAに304袋、直販が700袋、自家米が480袋となっています。直販米、自家米全てJAの検査を受けています。直販の価格は、8千円から2万円です。

特徴は、大口の販売先に応えるため、横田地区

町内の産直施設、農業公社を視察

調査の日時

平成20年5月20日(火)～21日(水)

調査の結果

町内の産直施設、農業公社、並びに町道、農道の視察調査を行いました。

3つの産直市場は、どの施設も職員がよく頑張っており、特徴を出しながら成果を上げています。施設

農業公社を視察

の統合という意見もありますが、当面は、個々で知恵を出し、特徴を活かしながら経営する事が良いと思われま

す。農業公社は農地の荒廃を防ぐためにも必要です。農閑期の仕事の確保が課題です。

トマト工房の運営は今後の課題です。

の6法人で、横田特定農業法人ネットワーク「LPLP」を結成し、共同販売、大型農機具の共同利用に取り組んでいます。国際化が進む中、中山間地の農業は、経済合理性による価格競争に対抗することは不可能であ

り、付加価値の農業経営が必要です。しかし、米の付加価値は市場での評価は難しく、直販すれば、付加価値を高めた販売が可能です。三森原の取り組みは本町の法人経営も学ぶ所が多くありました。



農事組合法人「三森原」で研修

特別委員会を 設置

情報通信整備検討 調査特別委員会

発議者 木野山 孝 志議員
賛成者 松本 彰 夫議員

本町は中山間地といった条件不利地域で、テレビの難視聴地域が多く、さらに高速なインターネットが利用できない地域がある。また行政告知の方法が違い統一することが求められている。今後さらに情報基盤の格差が拡大していくことが懸念される。この格差を解消し住民が快適に暮らせる環境を整えるためケーブルテレビ(CATV)整備が可能か調査する。

特別委員会 委員長 村上 克郎
副委員長 渡邊 俊徳

元気なグループ紹介



少年野球チーム 「神石ジュニアオックス」



初めまして。少年野球チーム、神石ジュニアオックスです。平成10年4月に発足し、今年で十周年を迎えました。

毎週木曜日に神石中学校グラウンドにおいて、午後6時30分から午後8時30分まで2時間の練習をしています。現在の部員は23名で、練習はラニングやキャッチボールを行い、その後は高学年と低学年に分かれて監督、コーチ、保護者の皆様の指導のもと、部員の子供たちは真剣に、そして野球の楽しさを感じながらグラウンドいっぱい動いています。初めて野球をする部員もいますが、週一回の練習に加え、家庭や学校においてもキャッチボールの練習などをして一人一人が上達しようとして努力しています。

月に一度は練習試合を組み、近郡の招待試合にも参加し、練習の成果を発揮しています。普段の練習とは違う緊張感やヒットを打ちたいという気持ちを持ち、最後まで

あきらめず、大きな声を出しながら毎試合全力でプレーしています。

また、夏には広島市民球場で試合を観戦し、実際にプロ野球選手のプレーを見てより一層、野球に親しんでくれると思います。試合を観戦した部員たちには「あんな選手になりたい」「もっと打てるようになりたい」など、夢や目標を持って練習に取り組んでほしいと思っています。

編集後記

苦渋の選択との事ですが、県病院が「神石高原町立病院」に生まれ変わります。

期待と不安。地域医療の中核としての役割を担う病院のありかたは、全国から注目されています。情報通信の整備もどうするか。特別委員会を立ち上げ議論することとなりました。

サブプライムローン不況に端を発した原油の

今年10月12日に神石ジュニアオックスの招待試合を予定しています。一年間の練習の成果を発揮する大切な試合です。みなさん応援に来てください。

最後に、子ども達には野球を通じて体を動かすことの楽しさはもちろん、仲間の大切さや、友達を思いやる優しい心をもって野球に励んでほしいと思っています。

高騰と物価高そして世界的な食料不足。今年のサミットは日本が議長国。主要な議題は地球温暖化対策とか。

自然をどう残し、生かすか。中山間地に位置する自治体の将来展望が問われています。

緊縮予算で、議会広報も今月号から2色刷りの12ページとなりました。インパクトのある書面に出来るか。苦勞しました。感想など事務局までお願いします。(木)